

あすなろ

Spring
2021

特集：当院の新型コロナウイルス対策・ワクチンについて

No.135



発行：永田内科・消化器科医院

当院の新型コロナウイルス対策・ワクチンについて

世界中に蔓延した新型コロナウイルス感染症はいまだ収まる気配が見られません。我が国でも既に1年以上全国民が自粛生活を強いられています。1医療機関として、感染させない、感染しないために万全を期していますが、病院でもクラスターが発生していますので油断はできません。当院での新型コロナウイルス対策と、これから実施されるワクチンについてお知らせします。

当院の対策

来院の皆様には、マスク着用と入口での手の消毒、待合室での間隔を空けての着席をお願いしています。ご協力有難うございます。

院内ではスタッフ一同、日本医師会の勧める「院内における新型コロナウイルス感染症対策チェックリスト」（図1、2）に則って毎日実施しています。

図1 図2 院内における新型コロナウイルス感染症対策チェックリスト

No. 0022134

**感染症対策実施
医療機関**

当院は新型コロナウイルス感染症対策
チェックリストに沿った
対策を実施しております。

QRコード

日本医師会 協力：厚生労働省

永田内科・消化器科医院

**院内における新型コロナウイルス
感染症対策チェックリスト**

- 職員に対して、サージカルマスクの着用、手指衛生を適切に実施しています。
- 職員に対して、毎日(朝、夕)の検温等の健康管理を適切に実施しています。
- 職員が身体の不調を訴えた場合に適切な対応を講じています。
- 患者、取引業者等に対して、マスクの着用、手指衛生の適切な実施を指導しています。
- 発熱患者への対応として、事前に電話での受診相談を行う、または対応できる医療機関へ紹介する等の対策を講じています。また、発熱患者を診察する場合には、時間的または空間的に動線を分けるなどの対策を講じています。
- 受付における感染予防策（遮蔽物の設置等）を講じています。
- 患者間が一定の距離が保てるよう必要な措置を講じています。
- 共用部分、共有物等の消毒、換気等を適時、適切に実施しています。
- マスク等を廃棄する際の適切な方法を講じています。

日本医師会 協力：厚生労働省

施設の設備として、窓口に「体表面温度モニタリング装置」を設置して皆様の体温を自動的にチェックさせて頂いています。

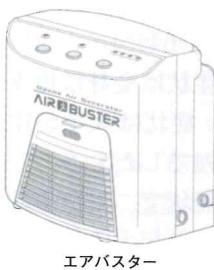
換気には注意していますが、「コンパクトCO₂濃度測定器」で蜜になっていないか客観的

にチェックしています。

院内のウイルス対策として、待合室には以前から設置していた空気清浄機に加えて、フッ素に次ぐ酸化力を持ち、塩素の約6倍の除菌力を有するオゾン脱臭器「エアバスター」を設置し

ました（オゾンは反応後自然に酸素に戻ります）。

また深紫外線LED（波長が短く水や空気を殺菌する能力が認められています、新型コロナウイルスにも有効が証明されています）+光触媒フィルターを用いた空間除菌消臭装置「エアロビュア」を診察室、処置室、内視鏡室に設置しています。



エアバスター



コンパクト CO₂ 濃度測定器

毎日午前、午後の仕事終了後には、次亜塩素酸水溶液で汚染の考えられる場所を清拭するとともに、空間噴霧しています。

また内視鏡検査にあたって医師はマスク、フェ

イスシールド、手袋をつけ、ガウンを着て、看護師もマスク、フェイスシールド、手袋を着用して対応しています。

また当院で使用している強酸性電解水を用いた内視鏡消毒装置（CLEANTOP）でも新型コロナウイルスを不活性化出来ることが確認されました。

最近内視鏡検査受診者の唾液PCR検査陰性でも、消化管液では陽性の場合があることが、



エアロビュア

横浜市立大学から発表されました（横浜市立大学肝胆膵消化器病学講師 日暮琢磨氏ら Digestive Endoscopy 2021年2月6日オンライン版）。

唾液のPCR検査は陰性であっても、胃液では2.3%、腸液では1.3%に陽性を認めたという報告です（表1）コロナ陽性例と陰性例で、年齢、性、内視鏡検査の目的、治療薬、抗体検査陽性率にも有意な違いは認められなかったと報告されています。

従って内視鏡検査にあたってはガウン、マスク、フェイスシールド、手袋等の感染防御対策

表1 胃液・腸液のPCR検査結果

検体	RT-PCR陽性	頻度
全検体(783例)	16例	2.0%
唾液		
全唾液検査(783例)	0例	0%
上部内視鏡検査(560例)	0例	0%
下部消化管検査(223例)	0例	0%
胃液		
上部内視鏡検査(560例)	13例	2.3%
腸液		
下部消化管検査(223例)	3例	1.3%

が必要であることが明らかになりました。

以前から下水道を調べるとその地域のコロナ感染状況がわかると報告されていました。

このことから「一般市民もトイレ使用時などには新型コロナウイルス感染に注意を払う必要がある」と指摘しています。

新型コロナワクチンについて

新型コロナワクチン接種が2月17日より全国の医療機関で始まりました。ワクチンの供給が国の予定通りには進まないようですが、早晚全国民が接種可能になると思います。世界で実施された今迄の結果からみると、高い発症予防効果が認められています。

接種をお勧めします。

現在使用されているワクチンはファイザー社製のコロナウイルス修飾ウリジンRNAワクチン（メッセンジャーRNAワクチン、商品名コミナティ）です。

ワクチン接種対象は現在のところ16歳以上で、3週間間隔で2回接種することになっています。間隔が3週間以上空いた場合は出来るだけ速やかに2回目を接種します。

ワクチンによる免疫が十分出来るのは、2回目の接種を受けてから7日程度経過してからとされています。発症予防効果は95.0%といわれていますので、従来のワクチンではみられなかった高い予防効果が期待されます。

1回接種量0.3ccを筋肉注射します（通常のワクチン接種は0.5ccを皮下注射します）。

わが国での治験結果（20～85歳の日本

人健康成人160人)では、副反応として、疼痛(84.3%)、疲労(62.9%)、頭痛(55.1%)、筋肉痛(37.9%)、悪寒(32.4%)、関節痛(23.7%)、下痢(15.5%)、発熱(14.8%)、腫脹(10.6%)などが報告されていますが、他のワクチン注射でも見られるものであり、その多くは体の免疫反応による反応

図3 アナフィラキシーの代表的な症状



日本経済新聞 2021/3/7 電子版より(一部改変)

図4 日本で使う新型コロナワクチン3種



ファイザー社製(米国)
mRNAワクチン
21日間隔2回
筋注
発症予防効果 95.0%



モデルナ社製(米国)
mRNAワクチン
28日間隔2回
筋注
94.1%



アストラゼネカ社製(英国)
ウイルスベクターウクチン
28日間隔2回
筋注
70.4%

と考えられます。

最も危惧される有害作用はアナフィラキシーですが、現在までの報告ですと、100万回接種で4.5回、その94.5%は女性で発生といわれています。その原因是ワクチンや注射薬製造に必要なPEG(ポリエチレングリコール)に対する重症アレルギーと考えられますので、過去にワクチン接種や注射で重症な副作用の出た方は接種を避ける必要があります。食物・化粧品アレルギーのある方も注意が必要です。接種後30分は経過観察が必要です(接種後15分以内が77.4%、30分以内が87.1%)。

アナフィラキシーによる症状は全身に様々な症状を起します(図3)が、症状は大半が皮膚症状と呼吸器症状を伴うものでした。

アナフィラキシーと似た症状で、気分や顔色が悪くなったり、時には失神を起すこともある「血管迷走神経反射」がみられることがあります。精神的な緊張やストレスから自律神経のバランスが崩れて起きるとされていますが、他のワクチン注射でも見られ、安静にしていれば回復します。

いわゆる花粉症などのアレルギーの方は、接種できます。

他に現在のところ妊婦さん、16歳未満の方は接種対象外になっています。

今後わが国で使用が予定されているワクチンには、武田/モデルナ社製ワクチン(基本的

にはファイザー社製ワクチンと同じワクチン、28日間隔で2回接種)と、アストラゼネカ社製ワクチン(ウイルスベクターワクチン、病原性のないアデノウイルスにコロナウイルスの遺伝子を組み込むウイルスベクターワクチン、理屈はメッセンジャーRNAワクチンと同じ、28日間隔で2回接種)があります(図4)。

効果、副反応などはファイザー社製ワクチンと変わらない、大差ないといわれています。

新型コロナ感染症に対する唯一の防御法と考えられます。

可能な方には出来るだけ接種をお勧めします。

英大学インペリアル・カレッジ・ロンドンの研究チームが、ファイザー社製ワクチン2回接種で、約91%（80歳以上で88%、30歳未満では100%）に抗体が確認されたと発表しました(2月25日)。

文献

- 1) 新型コロナワクチンについて 第1版 (2021年2月12日現在) 国立感染症研究所
- 2) 新型コロナワクチン 今わかっていること まだわからないこと 守屋章成(名古屋検疫所 中部空港検疫所支所 空港検疫医療管理管) 日本プライマリ・ケア連合学会オンラインセミナー (2021年2月17日)
- 3) 新型コロナワクチンの接種の実施に向けて (令和3年2月20日) 厚生労働省 健康局 予防接種室
- 4) COVID-19ワクチンに関する提言(第2版) (2021年2月26日) 日本感染症学会



発熱外来について

37.5度以上の熱のある方は まずお電話下さい!

電話で症状をお聞きし、必要があれば完全予約制の午後2時からの発熱外来で対応させて頂きます。当院駐車場で車に乗車したままで、新型コロナウイルス抗原検査(定性)、必要があればインフルエンザ抗原検査も一緒にやらせて

電話: 0438-43-2355

頂きます(15分で結果判明します)。

またその後も発熱が続くようでしたら、唾液によるPCR検査(結果は翌日判明)を実施致します。ご協力をお願い致します。

栄養士からひと言　自分で健康を守ろう

冬の間、コロナ禍で運動不足になった体を春の訪れとともに、体をしっかり動かし筋肉をつけ健康づくりをしていきましょう。

春の香りを感じながらのウォーキングもいいですね。

ウォーキングが出来ない時は、テレビ体操・ラジオ体操もおすすめです。数分の体操で、胸の呼吸器官の動きを高め、首・背筋・脚・腰の強化、背中・腰の筋肉の引き締めをして、柔軟な体作りが出来、筋力低下を防げます。

普段使ってない筋肉を動かすことにより、血行も促進して体が暖かくなり、筋肉を鍛えることで自立した生活に繋がっていきます。

健康でいるためには「筋肉をつける」、じっとしていないで積極的に体を動かしていくことが大切です。

顧みる日々（4）

山本 學（俳優）



三島由紀夫は芝居も書いている。鹿鳴館、近代能楽集。それなのに最後は自衛隊の国軍化を訴えてのテロを行い、割腹死した。私は、家永三郎の歴史教科書への国家検定を不当とする劇団の「若い座標」の昼公演の幕間休憩で、舞台事務所のテレビで彼のテロリズムの現場中継を見た。次の幕で芝居を続けながら、「こんな所で、こんな芝居をして何になるのか」という虚しさと、テロに負けた」という想いと鬱々していた。以来イデオロギーと芝居について考え続けた。1年後劇団の芝居で小林多喜二を演じたが、イデオロギーと芝居の関わりへの疑問は深まるばかりだった。

山本薩夫という映画監督は叔父だが、政治と芸術について話したことはなかった。何故か世間の人は私の前で薩夫氏の話はしない。「罠」というフランスの芝居への出演交渉にイッセー尾形さんを訪ねた時に、彼独特の人を見据えて笑うような表情で「出演はしません。君は共産党でしょ」と断られた。私の前で叔父の話をしない人達の心の在り様を見た気がした。

薩夫叔父の墓碑に刻まれた文章だ。「映画は真実を伝える眼であり、政治や社会の不正を批判し、本当に大衆の幸福を願うものでありたい。私達創造者は常に創造者としての見識を高めなければならない」

私はその日イデオロギーと映画についての対論を心に置いて叔父を訪ねた。

「今日なア、垣根の外から家を覗く警官に犬をけしかけてやったぞ！！」と叔父が嬉しそうに笑った。私は「ベトナムでは、アメリカ軍の基地に果物を売りに来る小母さん達が、昼間は小銭を稼いで、笑いを提供し、夜

は銃を持って襲撃したそうです。今度彼が覗いて居たら招いてお茶でもどうぞと言ってやるほうがいいんじゃないですか」と言った。「何を言うか、人を不愉快にさせるなら帰れ！！」で終った。

私が劇团に入った頃は、安保騒動の頃だった。政治と演劇についての対話がデモに行くか、稽古をするかの対論を通して語られた。研究生の私達は発言権はなかったが、その討論から劇団は三つに分裂した。私は政治的イデオロギーを持たぬようになった。終戦直後GHQの民主化政策で労働組合が数多く結成され、その組合の文化活動の一つに労働組合の文化活動として演劇を観る会「労演」が結成された。ドイツの安い料金で良い演劇を労働者に提供する目的で1890年結成された観客組織（フォルクス ビューネ）、ナチスには弾圧されたが、戦後東西ドイツで復興された。それを参考にしたらしい。

日本では労演は各地に起こり、新劇の公演を支えた。私は結局イデオロギーを持たぬことに決めた。劇団を辞めて、テレビ、映画、商業芝居に数年打ち込み、ひたすら芝居を観て歩いた。

大河ドラマ「新・平家物語」「ありがとう」「白い巨塔」等々連続のテレビ、プラス年20本を超える単発が数年続いた。肉体的には限界だった。

そんな時突然下北沢の小劇場建設の話が降って湧いた。施主は本多一夫という地元の実業家だった。私の大道具から俳優への転向の時、いろいろ指導して下さった演出家、河路博先生からの相談だったので、死んでも断れなかった。小劇場の運営計画。劇場付きの劇

団作り、寝る間も惜しんで働いた。新聞発表は朝日新聞の伊地四郎氏の力添えで大々的に発表できた。劇場完成まで4年。劇場の柿落としに私はモスクワのタガンカ劇場の上演に向けて動き出した。「世界を震撼させた十日間」当時世界で最も注目されていた作品だった。

私はモスクワ映画祭の折、招待客の特権を利用して、その切符を手にいれた。切符の前売りは1年先まで完売だった。革命の十日間を、ほとんど大道具を使わないリビーモフのスピーディーな演出は、想像を超えた視覚的手法の連続だった。芝居が終って、私はロシア語がわかったと錯覚する程の感動に言葉を忘れた。その後リビーモフ氏にも逢い来日の意志は確認済みだった。ソ連政府への交渉も日本海貿易の野口氏の仲介で上演可能な段階まで進んだ。六本木のロシア大使館にも足を運んだ。

財政面では帝人の大屋晋三理事長と夫人の政子常務理事らにより設立された「国際舞台芸術振興財団」に依頼して道筋が立っていた。

突然二人の人間が現れた。脚本家の齊藤燐と俳優の岡村晴彦だった。「本多劇場の演劇関係の準備の依頼を本多氏から頼まれた。君達は出て行け、我々は鉄パイプの後ろ盾がある」と、脅迫まがいの退陣要求だった。本多氏の説明も曖昧であった。私の判断で劇場事

業から素早く全面撤退をした。今時の若者は信義という思考は持っていないという判断だった。

ただタガンカの話は断る訳にはいかないので頭を抱えた。

そんな時に突然ミグ戦闘機の亡命着陸騒動が起り、日本が亡命を認めたことでタガンカの話は立ち消えとなった。ほっとましたが、口惜しくもあった。

以下は大屋氏に提出した企画書の一部だ。私の無念を感じて戴ければ幸いである。

「現在世界の演劇は激動の時期にあります。各国の演劇プロデューサーが注目しているモスクワのタganカ劇場を日本に招くことは、両国の友好にとって大変有意義なことでもあり、また世界の劇界に大きな話題を提供することにもなります。今を逃したら日本招聘の意義も低下します。勿論日本の劇界にモスクワ芸術座招聘以上の衝撃を与えることは確実です。」

私は父から、リアリズムは物を見ることだと叩き込まれたが、司馬遼太郎も同じことを書いている。

「リアリズムとは物を見ることです。近代は見ることであります。」

エッセー補遺

三島 由紀夫（1925～1970）：

小説家、劇作家、評論家、政治活動家。戦後日本文学界を代表する作家の一人。小説「仮面の告白」「潮騒」「金閣寺」「鏡子の家」「憂国」「豊饒の海」戯曲「近代能楽集」「鹿鳴館」「サド侯爵夫人」など。1970年11月25日楯の会隊員4名と共に自衛隊市ヶ谷駐屯地を訪れ、東部方面総監を監禁、バルコニーでクーデターを促す演説をした後割腹自殺した。

「若い座標」：第二次「劇団新人会」第1回公演（1970年～1971年）
「早春の賦 小林多喜二」：第二次「劇団新人会」第2回公演（1972年）

山本薩夫（1910～1983）：映画監督、「戦争と平和」「太陽のない街」「荷車の歌」「人間の壁」「白い巨塔」「戦争と人間」「華麗なる一族」「金環蝕」など多数。學さんの父の弟。

イッセー尾形（1952～）：俳優「日本における一人芝居の第一人者」と呼ばれる。海外でも巡業。二人芝居、映画、ドラマ、小説の執筆、絵画など幅広く活動。

GHQ：（連合国軍最高司令官総司令部）：第二次世界大戦終結に伴うポツダム宣言を執行するために、日本で占領政策を実施した連合国軍機関（1945年8月15日～1952年4月28日）。

安保騒動：1959年から1960年、1970年の2度にわたり日本で行われた日米安全保障条約（安保条約）に反対する、国会議員、労働者や学生、市民、および批准そのものに反対する左翼や新左翼の活動家などが参加した反政府、反米運動とそれに伴う大規模デモ行動。

大屋晋三（1894～1980）：政治家（参議院議員）、実業家（帝人社長）。

大屋政子（1920～1999）：歌手、実業家、タレント、作家など幅広く活躍。

「国際舞台芸術振興財団」：舞台芸術を中心とする国際間の文化交流を通じて、わが国文化及び国際文化の発展に寄与・貢献するという趣旨で、大屋晋三（帝人社長）を理事長に、伊藤忠徳会長、日商岩井株社長、大屋政子氏などが常務理事となり、1974年11月13日に設立された。

ミグ戦闘機の亡命騒動：冷戦下の1976年9月6日ソビエト連邦軍現役将校ビクトル・ベレンコがミグ25迎撃戦闘機で日本の函館空港に着陸し亡命を求めた事件。

お願い

- ※保険証は毎月1度、窓口にご提示下さい。
- 保険証が変わった時は、出来るだけ早くお見せ下さい。
- ※「かかりつけ薬局」を変更される場合は窓口にお知らせ下さい。
- ※水曜日は検査日です。予約検査の方が優先されますので、診療の方はお待ちいただくことがありますご了承下さい。

ホームページ

<http://www.nagata-iin.com/>

休診のお知らせ

ゴールデンウイークの休診は
カレンダー通りです。

37.5度以上の熱のある方はまずお電話下さい!

電話：0538-43-2355

電話で病状をお聞きし、必要があれば完全予約制の午後2時からの発熱外来にお越し頂き、まず駐車場で、新型コロナウイルス抗原（COVID19抗原）、インフルエンザ抗原検査をして、その結果に応じて対応させて頂きます

あとがき

首都圏では新型コロナ感染者数の下げ止まりが続いています。変異株に置き換わっているためではないかと推測されています。変異株は感染力が強く、今まで少ないとされていた小児への感染拡大が危惧されます。今まで通り個々人の感染対策をしっかりと継続しながら、いわゆる3密を避けることが今までにも増して必要です。そうした中でワクチン接種が始まりましたが、予定していた数の輸入が遅れるようで、多くの人が接種できるようになるには時間がかかりそうです。その効果からコロナ対策の切り札と考えられるワクチン接種が一日も早く私共の手に

届いてほしいと願っています。今年は例年なく花粉飛散量が多いようで、コロナ対策と花粉症対策に苦慮されている方が増えています。ワクチン接種が始まりましたら、是非多くの方に受けて頂きたいと思います。当院かかりつけの患者様は接種可能かどうかお尋ね下さい。当院でもワクチン接種を実施する予定です。

（3月24日 永田成治）

発行日：2021年4月1日
発行人：永田成治
発行所：静岡県袋井市川井856-9（〒437-0064）
医療法人社団 健誠会
永田内科・消化器科医院
TEL.0538-43-2355 FAX.0538-43-1328
表紙：青島嘉江子
印刷所：中部印刷株式会社